

---

# 事業報告書

*ANNUAL REPORT*

平成20年度 '08. 4~'09. 3

---

社団法人 中部産業連盟

# 平成20年度 事業活動実績ならびに業務報告

## 目 次

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| I. 事業活動実績の総括 .....                    | 1  |
| II. 分野別事業活動                           |    |
| 1. 国内コンサルティング事業活動 .....               | 3  |
| 2. 研究開発事業活動 .....                     | 6  |
| 3. 国際協力事業活動 .....                     | 8  |
| 4. 首都圏におけるコンサルティング・研修事業活動 .....       | 11 |
| 5. 長野・信越圏におけるコンサルティング・研修事業活動 .....    | 13 |
| 6. 国際標準規格 I S O 関係事業活動 .....          | 14 |
| 7. P マーク審査事業活動 .....                  | 15 |
| 8. 「日本経営管理標準 ( J M S ) 」 推進事業活動 ..... | 16 |
| 9. トヨタ流改善支援事業活動 .....                 | 19 |
| 10. マネジメント貢献事業活動 .....                | 20 |
| 11. 会員事業活動 .....                      | 22 |
| 12. 役・職員の対外的協力活動 .....                | 32 |
| III. 業務報告                             |    |
| 1. 会 勢 .....                          | 34 |
| 2. 会 議 .....                          | 34 |
| 3. 庶 務 .....                          | 36 |
| 4. 協力活動 .....                         | 38 |

# I. 事業活動実績の総括（平成20.4～平成21.3）

## 1. 2008年混迷の極みに達した日本経済

日本経済は、平成19年度第3四半期以降から景気後退局面に入って、翌平成20年9月以降下降テンポが急速に早まった。日本経済の平成20年度第3四半期の実質成長率は、前期比12.1%減で先進国の中で最低となった。

経済の動きを見ると、全産業の経常利益（財務省法人企業統計季報による）は、平成19年度第2四半期以降、対前年同期比マイナスを続けている。民間設備投資も平成19年度第1四半期以降、同じく前年同期比マイナスとなっている。

とくに、昨年9月米国リーマン・ブラザーズの破綻を契機に世界的な金融危機が起き、日本の輸出総額は、平成20年度第3四半期から大きく減速し、同時に鉱工業生産も大きく下降した。日本の鉱工業生産指数は、平成20年10月3.1%減、同11月8.5%減、同12月も9.5%減で、3ヶ月間で実に20%低下し、壊滅的打撃を受けたのである。そして、昨年11月以降、企業は非正規雇用を中心に雇用の削減を進めた。

日本経済は、これまで世界経済、とりわけ米国経済の好調を背景に、輸出拡大に大きく依存してきたため、世界同時不況による需要急減の影響を最も深刻に被っている。

日本企業は、輸出と生産の激減を受けて業績は一段と悪化し、設備投資の圧縮と雇用調整の圧力が強まった。また、所得の減少により個人消費も落ち込んだ。

日本経済において、とりわけ自動車、機械、半導体に強かった東海地

方はその影響が大きく、100年に1度の景気後退に陥り、期末を迎えた。総じて、平成20年度日本経済は、混迷の極みに達した。

政府の大胆な経済・財政政策の転換によって金とモノの流れをつくり、流れを変えることが期待される場所である。そして、この危機を活かし、個々の企業が新しい時代の幕明けに向け動き出すことが何よりも大切なことである。

## 2. 平成20年度における事業活動の実績

- (1) 平成20年創立60周年を迎え、6月6日(金)ウエスティンナゴヤキャッスルにおいて、産官学から800余名の来賓を招き、記念式典、感謝状授与、記念講演（「魅力ある日本の創造について」トヨタ自動車株取締役名誉会長 豊田章一郎氏）、レセプションを開催した。また、東京では、5月26日(月)ホテルニューオータニにおいて、式典、感謝状授与、記念講演、レセプションを250余名の来賓を招き開催した。
- (2) 産業界のニーズに確実に応え、コンサルティング活動による革新的なコストダウンへの対応、企業付加価値の向上、企業体質改革、企業実績の向上、システム改善、現場改善、新しいマネジメントシステムへの取り組み、人材育成のための公開研修、企業内教育、課題別研究会、講演会、ISO、Pマークなど国際標準化のための審査認定、日本経営管理標準 (JMS) の実践的推進、目で見える経営 (Visual Management) の実践指導、海外研修生育成、企業再生、海外進出企業の支援、会員企業に対する情報提供など多様な産業界への支援活動を実施した。

本年度当連盟が実施した事業は次の通りである。

## Ⅱ. 分野別事業活動

### 1. 国内コンサルティング事業活動

- (1) 本部（名古屋）208社、東京本部119社、長野コンサルティング事業部19社に対してコンサルティング、教育研修を実施
- (2) 59の専門機関より要請を受け、コンサルティング、教育研修を実施

| 受注先                                | 本部  | 東京  | 長野 | 総計(件) |
|------------------------------------|-----|-----|----|-------|
| 会員企業ならびに非会員企業                      | 208 | 119 | 19 | 346   |
| 専門機関、公共機関からの要請<br>(診断・コンサルティング・調査) | 59  |     |    |       |

(研究部)

「戦略マネジメント」、「製造業の競争力強化支援」の2つの領域について、コンサルティングおよび研修をとおして産業界への普及を推進

- (1) 戦略マネジメント
  - 1) 戦略事業計画の立案・実践プログラム
  - 2) ビジネス・コーチング
  - 3) 営業改革プログラム
  - 4) 提案型営業力開発プログラム
- (2) 製造業の競争力強化支援
  - 1) 全社的改善・改革活動プログラムによる支援活動
  - 2) 順序化・流れ化・見える化
  - 3) New-JITサプライチェーン改革

(企画開発部)

- (1) トヨタ生産方式の支援コンサルティング（20社）
- (2) 工場再活性化支援コンサルティング（7社）
- (3) 匠工場へのモノづくり、人づくり支援コンサルティング（7社）
- (4) 減速経済に対応した効率的で変動にも強いモノづくり支援コンサルティング（2社）

(人事・組織革新事業部)

「組織と人」をコアにするコンサルティング技法の開発およびその展開を推進、活動は、企業戦略の策定や人事諸制度づくり・改定に関するコンサルティングから各種の教育・訓練まで幅広く対応

- (1) コンサルティング
  - 1) 人材マネジメント全般に関するコンサルティング（5社）
  - 2) 企業活性化や経営体質強化、また収益性改善に関するコンサルティング（4社）
  - 3) 業績・実績対応型賃金制度への転換や評価制度見直しのためのコンサルティング（5社）
- (2) 企業内研修

- 1) 管理職から中堅・新入社員までの全社的な階層別研修 (4社)
- 2) 各種の階層別あるいは機能別研修会 (30社・団体)
- 3) メンタルヘルスやコンプライアンス等の新しいテーマの教育訓練 (5社・団体)
- 4) 目標管理の導入や評価者訓練 (5社・団体)

(生産革新事業部)

生産・物流・品質・原価・開発・I S M S に関するコンサルティング、研修を実施

(1) コンサルティング

- ・トヨタ生産方式支援コンサルティング (17社)
- ・生産革新プログラム「儲かる工場作り」コンサルティング (15社)
- ・工場再活性化支援コンサルティング (3社)
- ・匠工場へのモノづくり、人づくり支援コンサルティング (7社)
- ・I S M S 支援コンサルティング (16社)
- ・内部統制、リスクマネジメント支援コンサルティング (5社)
- ・環境にやさしいエコデザインの推進 (3プロジェクト)

(2) 企業内研修

- ・トヨタ生産方式実践導入研修 (12社)
- ・「5S」と「見える化」で効率の良いモノづくりの実現 (2社)
- ・コストダウン、生産性向上のための現場改善講座 (3社)
- ・コンプライアンスに関する研修 (3社)
- ・内部監査員研修 (3社)
- ・管理監督者能力の向上研修 (4社)

(経営革新事業部)

(1) 【60Bank】プロジェクト (4社契約)

コンサルティング導入の際、経営課題の改善に取り組むためのノウハウと人員不足のため改善活動がままならない中堅・中小企業の悩みと、豊富な経験・ノウハウを持ったOB人材の活躍の場の未整備を同時に解消すべく立ち上げたプロジェクト

(2) 【中小企業診断士登録養成課程】プロジェクト (受講生14名)

中小企業診断士を養成する機関 (2次試験免除) として、平成20年2月29日に正式認可のもと、3月11日に開講。本年度は14名が受講し、全員修了した。

(企画営業部)

(1) コンサルティング

- ・ミス・ロス・クレーム低減に関するコンサルティング
- ・内部統制活動支援コンサルティング
- ・収益改善コンサルティング
- ・体質改善コンサルティング

(2) 企業内研修

- ・新入社員ビジネスマナー研修

- ・中堅社員研修
- ・監督者研修
- ・管理職研修
- ・役員研修
- ・次世代リーダー養成研修
- ・ヒューマンエラー撲滅研修
- ・コーチング研修
- ・中長期経営計画策定研修
- ・技術創造性開発研修
- ・小集団活動研修
- ・原価管理研修
- ・新規事業開発研修
- ・職場のメンタルヘルスとリスクマネジメント研修

(第六コンサルティング部)

銀行、投資ファンド等の金融関係機関とタイアップしたコンサルティング（及び研修）の企画、また、金融・財務ソリューションの提供を主目的とし、経営層へのアプローチを可能とするコンサルティングを実施

(1) コンサルティング実績（28件）

1) 「経営総合診断」を切り口とした、個別コンサルティング（9件）

収益改善コンサルティング、営業力強化コンサルティング、戦略市場計画の策定・業務改善、営業力向上と戦略市場計画・ミス対策、営業基盤強化に向けた提案型営業力向上プログラム、体質強化支援、人事制度設計コンサルティング

2) 「生産現場簡易診断」を切り口とした、個別コンサルティング（14件）

儲かる工場づくり、事業デューデリジェンス及び収益改善、品質改善コンサルティング、在庫削減、現場改善コンサルティング、生産現場コンサルティング、生産管理体制改革、改善活動推進コンサルティング、管理間接業務改善コンサルティング、工場移転支援コンサルティング、新工場移設支援コンサルティング、モノ作り改革プロジェクト支援

3) 金融・財務・再生関連コンサルティング（5件）

経営の現状と今後の見通しに関する調査と助言、M&A検討プロジェクト支援、もの作り改革を梃子にした企業再生、経営サポートプロジェクト

(2) セミナー、講演会等の実績（23件）

1) セミナー

起業シュミレーション、次世代幹部勉強会、日本ビジネス講義、日本における中小企業振興策、新規事業開発「トヨタ生産方式」、財務管理・事業戦略・まとめ（論文作成支援）、財務・会計の基礎知識

2) 講演会

戦略的マーケティングのあり方

(3) 調査、診断業務の実績 (3件)

- 1) 新工場建設計画に役立てる、工場運営・工程の調査・診断
- 2) 中国 (大連) 工場 工程調査
- 3) 生産部門における改善診断と、改革への提言

## 2. 研究開発事業活動

(1) 職員の発表論文と受賞状況

第60回 全国能率大会

第Ⅰ部 平成20年7月8日 (於:東京都)、第Ⅱ部 平成20年8月28日 (於:東京都) において、当連盟職員が研究論文を発表した。

発表論文 (第60回大会発表論文)

- ・3つのアプローチで進める組織活性化  
～システム、ヒューマン、コミュニケーション～

コンサルタント 橋本 豊

- ・「中小企業におけるLCA支援」  
～製品環境性能の見える化支援～

コンサルタント 南山 賢悟

(2) 平成20年度 全日本能率連盟 顕彰者

顕彰牌 小林 啓子 水元 勝久 山崎 康夫

表彰牌 高岡 一郎

(3) 専門書、専門誌、テレビ出演などの活動

- ・「日経ものづくり」日経BP社  
“英語で伝えるMONOZUKURI”第13回～第24回  
松崎 久純 (平成20年4月号～平成21年3月号)
- ・「Learnings From Toyota Production System」独立行政法人国際協力機構 (JICA)  
古橋 武之 (平成20年4月)
- ・「ザッツ営業」日本実業出版社  
“中間層に焦点を当てれば組織全体の向上につながる”  
福山 穰 (平成20年春号)
- ・「見える化で管理・間接部門まるごと大改革」日刊工業新聞社  
五十嵐 瞭、小坂 信之、小林 啓子 (平成20年7月)
- ・「愛知ブランド企業底デカラ 200社超！」共同通信社  
なっ得コラム “愛知の専門技術で産業集積を繋ぐ多様な企業群”  
竹内 弘之 (平成20年9月)
- ・「企業グループの体質強化につながるBCP」中部経済新聞寄稿  
吉田 薫 (平成20年9月1日)



- ・2008品質月間テキスト「人為ミスを防ぐA-KOMIKの実践」品質月間委員会  
中山 賢一、富澤 祐子 (平成20年10月)
- ・「V-MAP Manual」独立行政法人国際協力機構 (JICA)  
古橋 武之 (平成21年1月)
- ・「PDCAでわかる環境法令対応ハンドブック」新日本法規出版  
梶川 達也、熊澤 晶子 (平成21年2月)
- ・「マテリアルフローコスト会計 (MFCA) でコストダウン」中部経済新聞寄稿  
梶川 達也 (平成21年3月18日)
- ・「日本経営診断学会論集」  
“管理・間接部門における日常業務管理の見える化”  
山崎 康夫 (平成21年3月)

(4) 中産連マネジメント大会

当連盟所属コンサルタントが、日頃の活動をとおして研究・開発したマネジメントノウハウをとりまとめ、名古屋・東京で発表

1) 第21回マネジメント大会開催 (名古屋)

開催日：平成20年11月5日(水)

会場：名古屋東急ホテル

大会テーマ：～次の世代への橋渡し。伝承、進化、新たな挑戦～

参加人数：754名 (第1部会 524名 第2部会 230名)

記念講演：「トヨタのものづくり、ひとづくり」

～私の青春時代と次世代に伝えたい、ものづくりの心～

会長 池淵 浩介

発表テーマと発表者：

・第1部会

事例発表「儲かる工場作り」の実践と人づくり

新協技研(株) 取締役 天野 敏和氏

「儲かる工場作り」の誕生とそのコンセプト

主席コンサルタント 鈴木 敏雄

事例発表 パラダイムシフトによるモノ造りイノベーション

クラシエホームプロダクツ(株) 社長執行役員 岩倉 昌弘氏

売れに合せたモノ造りの仕組み作り

主任コンサルタント 山田 孝

・第2部会

人づくりのための人事諸制度と教育訓練

主席コンサルタント 福山 穰

主任コンサルタント 柘植 吉則

コンサルタント 橋本 豊

評価チェックシートにもとづく実践的なCSRの進め方

主任コンサルタント 山内 昌彦

## 2) 第15回東京マネジメント大会

開催日：平成20年10月20日(月)

会場：アルカディア市ヶ谷

大会テーマ：真の会社力が問われる時代の経営革新への提言

参加人数：196名（経営革新部会 140名、人材革新部会 56名）

発表テーマと発表者：

### ・経営革新部会

見える経営～VMの真髓と進化～

専務理事 五十嵐 瞭

VMによる生産現場のコストダウンの進め方

主任コンサルタント 山崎 康夫

管理・間接部門の業務改善の進め方

コンサルタント 丸田 大祐

VM／目で見える経営による経営改革と魅せる工場づくり

浪江日本ブレーキ(株) 取締役 経営推進グループ長 千葉 修平氏

### ・人材革新部会

上司力と社員力を向上させる新しい着眼点

主任コンサルタント 横山 太郎

自己と直面し、意識改革を図る人材アセスメントの活用

主任コンサルタント 梶屋 宣之

チームビルディングと変革リーダーシップを推進するアクションラーニングの展開

主任コンサルタント 小栗 義裕

## 3. 国際協力事業活動

(国際研修事業部)

海外でコンサルティングや研修を実施するものと、国内で外国人研修員を受け入れるものに大別される。

### (1) 海外での活動

1) 友誼団体であるAPO（アジア生産性機構）などの海外で実施する研修事業への講師派遣

| コース名  | 主催  | 実施国   | 期間              | 日数 |
|---|-----|-------|-----------------|----|
| Training Course on Total Productive Maintenance               | APO | パキスタン | 平成20年4月14日～18日  | 5日 |
| Study Mission to Nonmember Countries on Production Innovation | APO | ドイツ   | 平成20年9月15日～19日  | 5日 |
| Study Meeting on Lean Six Sigma                               | APO | 台湾    | 平成20年9月23日～26日  | 4日 |
| Training Course on Development of Productivity Practitioners  | APO | マレーシア | 平成20年11月19日～22日 | 4日 |

2) マレーシア等のアジア諸国におけるコンサルティングの実施

| コース名   | 主催                               | 実施国   | 期間             | 日数 |
|--|----------------------------------|-------|----------------|----|
| Preliminary diagnosis and Recommendation of action plans | PARAGON Training and Consultancy | マレーシア | 平成20年4月21日～22日 | 2日 |

(2) 国内での活動

1) 国内の受託事業

本年度も J I C A (独国際協力機構) から2コースを継続して受託

| コース名                              | 期間                 | 研修員 | 件数 |
|-----------------------------------|--------------------|-----|----|
| 「日墨交流計画 全社品質・生産性向上(産業工学・品質管理)」コース | 平成20年5月8日～10月10日   | 11名 | 1件 |
| 「中南米地域企業・新規事業支援」コース               | 平成20年10月20日～12月12日 | 8名  | 1件 |

\*前者は若手企業人を、後者は行政関係者を対象としている。

2) 友誼団体である A O T S (助海外技術者研修協会) などの国内で実施する研修事業に講師派遣

| コース名  | 実施機関 | 件数 |
|---|------|----|
| 各種経営管理研修コース   | AOTS | 3件 |
| e-Learning Course on the Toyota Production System                     | APO  | 1件 |
| Training Course on Production Innovation                              | APO  | 1件 |
| 職業訓練指導員養成プロジェクト管理者マスタートレーナー研修   | OVTA | 1件 |
| Training Course for distance learning via Videoconference "Marketing" | 世界銀行 | 1件 |

※ O V T A : (助海外職業訓練協会)

3) メキシコ国立自治大学 (U N A M) ビジネススクール学長、マリアアントニエタ・マーチン・グラナドス博士による中産連創立60周年記念特別講演会「メキシコ国と日本の協働～環境問題を核とする関係強化をめざして～」の開催

9月12日に上記講演会を、総計103名の参加者により開催。この講演会には、同上大学院から学長以外に11名が参加し、日墨の交流がはかられた。

4) 公開セミナー

| セミナー名                          | 期間              | 日数                       |
|--------------------------------|-----------------|--------------------------|
| 経営幹部・次世代リーダーのための「日英対訳で学ぶドロッカー」 | 平成21年2月18日～9月9日 | 8日<br>(本年度2日実施、初回参加者15名) |

(研究部)

産業界のグローバル展開に貢献する事業を積極的に推進。経済連携協定（EPA）等にもとづく経済・産業協力事業に会員企業と共に参画し、当地区に長年にわたって蓄積されてきた「ものづくり」の考え・価値観が企業経営における世界共通の土台となるよう、現地への専門家派遣と、日本での研修を組み合わせ、効果の高い事業を展開。

(1) 「ものづくりのリーダー育成」支援事業：インド

日本－インド グローバルパートナーシップ計画の一環として、インド政府が推進する産官学連携事業：産業界のリーダー育成事業、VLFM (Visionary Leaders For Manufacturing) プログラムに協力し、現地への専門家派遣と、本邦研修の受け入れを実施。

| コース名        | 主催   | 実施国 | 研修員            | 期間              | 日数 |
|-------------|------|-----|----------------|-----------------|----|
| 製造業経営幹部育成支援 | JICA | インド | －              | 平成20年6月30日～7月4日 | 5日 |
| 製造業経営幹部育成支援 | JICA | インド | A：48名<br>B：30名 | 平成20年9月15日～20日  | 6日 |
| 製造業経営幹部育成支援 | JICA | インド | A：48名<br>B：30名 | 平成21年2月8日～16日   | 9日 |
| 同 本邦研修      | JICA | 日本  | A：46名          | 平成20年5月29日～30日  | 2日 |

\* A：経営幹部コース、B：若手幹部候補生コース

(2) 「現場改善推進リーダー育成」支援事業：南アフリカ

南アフリカの経営大学院と連携し、産業界の改善推進リーダーを育成する事業として、現地ワークショップへの専門家派遣と、日本での研修を実施

| コース名         | 主催   | 実施国   | 研修員 | 期間              | 日数 |
|--------------|------|-------|-----|-----------------|----|
| 現場の問題解決・改善技法 | AOTS | 南アフリカ | 30名 | 平成20年7月28日～8月1日 | 5日 |
| 経営幹部研修       | 中産連  | 日本    | 11名 | 平成20年8月25日～29日  | 5日 |

(3) 自動車部品製造業の改善リーダー育成 支援事業：マレーシア

日本－マレーシア産業協力（MAJACO）の一環として、現地企業のリーダーを育成する事業（Cプロジェクト）に当地区産業界と共に参画し、日本へ招聘して研修を行う事業を実施し、また現地でのセミナーにも専門家を派遣

| コース名                    | 主催   | 実施国   | 研修員 | 期間              | 日数  |
|-------------------------|------|-------|-----|-----------------|-----|
| 自動車産業技術協力レビュー会議         | 野村総研 | マレーシア | －   | 平成20年10月20日～21日 | 2日  |
| 自動車産業技術協力事前セミナー会議       | 野村総研 | マレーシア | －   | 平成21年1月12日～16日  | 5日  |
| マレーシア自動車部品製造業競争力強化研修コース | AOTS | 日本    | 18名 | 平成21年2月2日～3月13日 | 30日 |

(4) 他機関が企画した海外への調査・視察団に連盟職員が参加

| 名 称              | 派遣先    | 主 催      | 期 間                | 参加者 |
|------------------|--------|----------|--------------------|-----|
| 2008年「I S O研究会」  | タイ     | ㈱J-VAC   | 平成20年7月17日～7月23日   | 3名  |
| 2008年「FEACO国際大会」 | ドブロヴニク | ㈱全日本能率連盟 | 平成20年10月21日～10月31日 | 1名  |

#### 4. 首都圏におけるコンサルティング・研修事業活動

(東京本部)

(1) コンサルティング事業

VM (Visual Management=目で見る経営) 活動の推進による企業体質の改革、フレキシブル生産システム (FMS) の確立による生産革新、生産現場改善によるコストダウン、5S活動の推進、在庫削減とリードタイム短縮の推進、間接部門の5S・ファイリング・VMの推進、人事制度の革新と組織の活性化の推進、賃金制度・退職金制度の改革、ISO9001と14001認証取得のための品質保証体制の確立など、121件のコンサルティングを実施

(2) マネジメント研修事業

1) 講演会

| 講演会名             | テーマ (内容)        | 開催日        | 開催場所      | 発表企業名            | 参加者数 |
|------------------|-----------------|------------|-----------|------------------|------|
| VMによるKAIZEN事例発表会 | 目で見る経営で改善を加速させる | 平成20年7月10日 | アルカディア市ヶ谷 | 富士電機システムズ(株) 他2社 | 148名 |

2) 公開セミナー (62件、843名)

①生産・在庫・5S関係

- ・生産・事務現場/5S展開セミナー (2回)
- ・5Sレベルアップセミナー (2回)
- ・事務所の5S・ファイリング推進セミナー (4回)
- ・開発・設計の付加価値向上セミナー (3回)
- ・生産現場の目で見る管理実践セミナー (2回)
- ・経営トップセミナー/勝ち残る工場づくり◇その構築の進め方
- ・生産管理改善/実践手法習得セミナー
- ・VM活動による管理・間接部門の見える化セミナー
- ・組織横断プロジェクトのVM/見える化の進め方 (4回)
- ・基礎から学ぶ「カイゼン」の進め方 (2回)
- ・マネジメントを根底から変える「VM/見える化」経営の進め方
- ・生産現場改革による徹底したコストダウンの進め方
- ・工場幹部のための「生産革新研究会」

## ② I S O関係

- ・ I S O9001内部品質監査員養成セミナー (6回)
- ・ I S O14001内部環境監査員養成コース (6回)
- ・ Q M S / E M S の業務改善と統合セミナー (2回)
- ・ I S O見える化スリム化セミナー
- ・ 内部監査員 S k i l l U p 訓練コース (3回)
- ・ プロセス対応型 I S O9001内部監査員養成研修
- ・ I S O22000内部食品安全監査員養成コース
- ・ I S O9001：2008対応とシステム効率化セミナー

## ③ 人事関係

- ・ 期待役割と成果責任に基づく賃金改革の進め方
- ・ 人事考課力強化の進め方 (2回)
- ・ 変革リーダーシップ実現と社員の意識改革の進め方 (2回)
- ・ 入社1ヶ月後研修
- ・ 力強いリーダーシップ人材を育てる
- ・ 上司力向上のための部下指導育成スキル研修

## ④ その他

- ・ 十和田パイオニア(株)《見える化》工場見学会 (3回)
- ・ 中堅・中小企業における C S R 導入セミナー
- ・ 温故知新・企業軍師養成講座 (2回)
- ・ 「社員」の生産性向上セミナー
- ・ 「営業部門」の V M / 見える化セミナー

## (3) 企業内研修事業

C A P (中産連アセスメントプログラム) による経営者、管理者、監督者の階層別企業内教育研修、アクションラーニング研修、人事考課者訓練の実施、昇格者研修、リーダー研修、戦略マネジメント研修、新入社員研修、新入社員フォローアップ研修、I S O9001と14001認証取得のための内部品質監査員養成研修など数多くの企業内研修を実施

## (4) 業務協力によるコンサルティングおよび研修活動

- 1) 静銀経営コンサルティング(株)、りそな総合研究所(株)、(株)ちばぎん総合研究所、(株)企業育成センター、(株)日本商工経済研究所、S M B C コンサルティング(株)、みずほ総合研究所(株)と業務協力をして、これら機関を通じて民間企業に対するコンサルティングと研修事業を受託し、共同でコンサルティングと研修活動を実施
- 2) 中小企業大学校、秋田県横手市役所などの公的機関から依頼を受け、地域の中小企業に対する研修とコンサルティング活動を実施し、人材の育成と企業の発展に協力

## (5) 中産連 V M 賞の授与

V M 活動を推進して企業体質の革新を図った十和田パイオニア(株)に対して平成20年4月10日に「中産連 V M 本賞」を授与し表彰

## 5. 長野・信越圏におけるコンサルティング・研修事業活動

(長野コンサルティング事業部)

### (1) コンサルティング事業

監督者の日々管理の仕組みづくり、生産効率化、TPS改善、A-KOMIK標準化、3S・3定指導、VM指導、ISO14000など、13件のコンサルティングを実施

### (2) 企業内研修

業務マネジメント力向上、PDCAの効果的な回し方、品質意識づけ、技術系のQC、百聞一見研修、5Sスキルアップ、一般社員特別研修、品質基礎のきそ、現場のあるべき姿創出と作業訓練、監督者トレーニング、全員参加で品質不良のゼロ実現など、11講座を実施し、616名が受講

### (3) 公開セミナー

匠工場の人づくり、生産期間短縮、ポカミス個別対策、生産準備の基本、3S・3定改善の進め方などのセミナーを6回開催し、計95名が受講

### (4) 業務協力による研修事業

#### 1) ㈪日本自動車部品工業会関西支部60周年記念事業

ものづくり3S・3定基準状態個別診断 12社

現場監督者の日常維持管理スキル研修 5回・23名

記念講演会「生産量の減少・増減に対応するための管理思考」 64名

5Sモデル工場見学会 30名

#### 2) 長野県中小企業団体中央会（経済産業省地域力連携拠点事業受託）

熟練技能伝承モデルビデオ作成指導 指導回数10回

新人の即戦力化セミナー 開催5回 受講者207名

#### 3) 講演会

次の講演会を開催し、350名が参加

| 演 題                | 主 催         | 講 師 名                                 |
|--------------------|-------------|---------------------------------------|
| 今、企業にとって何が必要か      | 佐久市工場協会     | 中産連副会長 竹内 弘之                          |
| 現場力を強くする3S・3定と見える化 | 佐久市工場協会     | 中産連主任コンサルタント<br>中島 俊宏                 |
| 経営者のための緊急提言会       | 中産連（伊那市）    | 中産連主任コンサルタント<br>中島 俊宏                 |
| 品質月間特別講演会          | 日本規格協会（新潟市） | 中産連主席コンサルタント<br>中山 賢一<br>中産連研究員 富澤 祐子 |

### (5) 重点事業

ものづくり企業における製造現場の“要”である監督者の改善能力の訓練と、広範な人脈づくりを目指して、監督者交流会（略称SF会）を2期（27名）、3期（25名）開催

| 開催日    |            | おもな内容   |
|--------|------------|---|
| 2<br>期 | 第1回 4月24日  | 座学「監督者の日々管理A-KOMIK」                                     |
|        | 第2回 5月23日  | 工場実習 (株)エヌ・イー<br>山洋電気(株)<br>ニチアスセラテック(株)<br>エプソントヨコム(株) |
|        | 第3回 6月18日  |   |
|        | 第4回 7月22日  |   |
|        | 第5回 8月22日  |   |
|        | 第6回 9月25日  | 成果発表会   |
| 3<br>期 | 第1回 10月28日 | 座学「監督者の日々管理A-KOMIK」                                     |
|        | 第2回 11月25日 | 工場実習 (株)丸信製作所<br>オリオン精工(株)<br>サン工業(株)<br>オリオン機械(株)      |
|        | 第3回 12月25日 |   |
|        | 第4回 1月23日  |   |
|        | 第5回 2月20日  |   |
|        | 第6回 3月25日  | 成果発表会   |

## 6. 国際標準規格 I S O 関係事業活動

( I S O 事業部 )

I S O 9001 / 14001、27001、22000、T S 16949、O H S A S 18001 (国際規格標準) 関係活動事業

### (1) コンサルティング・企業内訓練

I S O 9001 / 14001、27001など認証取得支援のためのコンサルティング機関ならびに研修機関として、連盟所属コンサルタントのうち、約60名が主任審査員、審査員ならびに審査員補 ( J R C A、C E A R 認定) の資格を有するわが国屈指の機関、これにより、180件のコンサルティングの支援活動を実施

- 1) I S O 9001 (品質) 92件
- 2) I S O 14001 (環境) 60件
- 3) O H S A S 18001 (労働安全衛生マネジメントシステム) 3件
- 4) I S M S (情報セキュリティシステム) 11件
- 5) I S O 22000 (食品安全マネジメントシステム) 4件
- 6) その他 ( C S R、リスクマネジメント、コーチング研修、現場経営者研修、提案営業、新製品開発、生産性向上、安全管理 ほか) 10件

### (2) 公開研修

- 1) 延べ293回開催し、3,266名の参加者数を得た。(別表1参照)
- 2) I S O 9001及びI S O 27001の審査員研修機関 [ 財日本規格協会 ( J R C A ) から認定]、14001の審査員研修機関 [ 財産業環境管理協会 ( C E A R ) から認定] として審査員研修を実施  
I S O 9001、I S O 14001及びI S O 27001の3つのコースを認定されている中部地区では、唯一の機関
- 3) V D A [ドイツ] と提携し、T S 16949監査員コースを開催



別表1 平成20年度 公開研修等

| 公 開 研 修                    | 実施回数 | 延参加人数  |
|----------------------------|------|--------|
| I S O 9000研修 (含 T S 16949) | 140  | 1,411  |
| 9001審査員コース (3日、5日間)        | 3    | 19     |
| V D A T S 16949審査員コース      | 1    | 8      |
| I S O 9001 (計)             | 144  | 1,438  |
| I S O 14001研修              | 96   | 1,143  |
| 環境スキルアップ講習会                | 12   | 201    |
| 14001審査員コース (3日、5日間)       | 4    | 35     |
| 欧州環境視察団 (7/6~13)           | 1    | 18     |
| I S O 14001 (計)            | 113  | 1,397  |
| I S O 27001                | 7    | 48     |
| 27001審査員コース (5日間)          | 2    | 10     |
| Pマーク                       | 4    | 43     |
| I S O 27001・Pマーク (計)       | 13   | 101    |
| O H S A S 18001研修          | 11   | 82     |
| I S O 22000 (H A C C P) 研修 | 3    | 17     |
| I S O 10002 (苦情対応プロセス) 研修  | 3    | 84     |
| C S R研修                    | 1    | 12     |
| V M研修                      | 1    | 14     |
| B C M研修                    | 2    | 16     |
| 紹介セミナー                     | 2    | 105    |
| その他 (計)                    | 23   | 330    |
| 合 計                        | 293回 | 3,266人 |

※第11回欧州環境視察団を平成20年7月6日～13日に実施

(イギリス、ドイツ、イタリア：17社18名参加：事務局を含め総勢20名参加)

## 7. Pマーク審査事業活動

(Pマーク審査センター)

### (1) 事業活動の総括

1) 平成18年4月にプライバシーマーク指定機関（認定コード：19）として（株）日本情報処理開発協会（J I P D E C）から認定を受けて以来、指定機関として審査業務を進め、審査対象範囲は主として中部地区（愛知、岐阜、三重、石川、富山）の事業所のプライバシーマーク認証及び更新のための審査業務を行う中部地区唯一の指定機関

2) プライバシーマーク指定機関として現在、約35名のPマーク主任審査員、審査員を擁す

### (2) 事業活動実績

1) 本年度の審査申請・受付件数：337件

・内訳：愛知県244件 岐阜県26件 三重県17件 石川県28件 富山県16件 東京都1件  
大阪府3件 福井県1件 島根県1件

- ・審査センター開設後の審査申請・受付累計件数は682件
- 2) 平成20年8月 岐阜商工会議所主催（開催地：美濃加茂商工会議所）のプライバシーマーク説明会に講師を派遣（出席者15名）
- 3) 平成21年2月 中部IT協同組合のプライバシーマーク説明会に講師を派遣（出席者50名）
- 4) 平成21年3月 岐阜商工会議所のプライバシーマーク説明会に講師を派遣（出席者55名）
- 5) 平成21年度のプライバシーマーク審査員養成研修コース申請に向けて、プライバシーマーク審査員養成研修を実施（平成21年3月2～6日、参加者2名）

## 8. 「日本経営管理標準（JMS）」推進事業活動

（JMS事業部）

### (1) 日本経営管理標準（JMS）推進機構の活動

#### 1) 企画委員会（4回開催）

#### 2) JMS推進機構「日野自動車見学会」

開催日：平成20年10月3日

内容：日野自動車F1ライン工場、日時計生産方式見学

蛇川相談役によるJMSに関する講話と懇談

日野自動車訪問の振り返りとディスカッション

参加者：25名

#### 3) JMS評価簡易体験版

公開日：平成20年12月15日

内容：中産連Webにて7つの第二分類項目で評価を体験

これらの項目に関連の深い革新活動事例も併せて掲載し、活用のヒントを提示

#### 4) JMSによるカイゼンマネジメントについての通信教育テキスト制作

（開講は平成21年5月予定）

内容：職業訓練法人 日本技能教育開発センターの通信教育カリキュラムに「JMSで学ぶカイゼンマネジメント～カイゼン・トヨタ式！」（受講期間3ヵ月）を開発提供

#### 5) 経営者特別講演会

| 講演会名      | テーマ（内容）                   | 開催日         | 開催場所          | 講師名                           | 参加者数 |
|-----------|---------------------------|-------------|---------------|-------------------------------|------|
| JMS経営者講演会 | 「自らを鼓舞し、行動し続けるたくましい人材」の育成 | 平成20年6月20日  | 名古屋東急ホテル      | トヨタ自動車株式会社<br>専務取締役<br>新美 篤志氏 | 115名 |
|           | 「歩いて棒にあたった新規事業」           | 平成20年12月19日 | ホテル名古屋ガーデンパレス | ヤマハ発動機株式会社<br>取締役会長<br>戸上 常司氏 | 106名 |

### (2) コンサルティング

JMSおよびトヨタ生産方式（TPS）を柱とした企業変革コンサルティングを実施

自動車部品・家電・化学・重機械・食品等メーカーにおける・生産革新コンサルティング（18社）、  
自動車部品メーカー国内40拠点およびタイ・中国海外拠点を含む生産・物流一気通貫革新コンサルティ

ング、品質管理診断、企業体質強化のためのコンサルティング、産業機械メーカーにおける製造体質強化活動、食品メーカー13事業所における設備生産性向上活動、素材メーカー7拠点における生産革新支援活動、JITをベースにした生産革新コンサルティング（2社）、工程改善推進プロジェクト、最短リードタイムの実現コンサルティング、改善塾、業務改善プロジェクト、自社独自のモノづくりマネジメントの構築、品質保証体制構築、人事制度改善コンサルティング、業務品質向上活動、海外食品企業の現場診断、自動車部品メーカー国内外12拠点での生産革新支援とそのため設備保全力を身につける保全自主研究会運営活動

(3) 社内研修

JMS研修、トヨタ方式の基礎研修、安全管理サークル研修、職場のハラスメント防止研修、中堅社員研修、物と情報と時間の流れ図作成研修、JITボード研修、PMリーダーシップ研修、方針管理の進め方研修、新入社員研修（PDCAとチームワーク力向上）、中堅社員コミュニケーション研修、海外幹部社員に対するトヨタ生産方式基礎研修、トヨタ方式を現場で実現するワークショップセミナー

(4) 講演会および公開研修

1) モノづくりの原点回帰そして改革への次なる一手

2回のトップフォーラムと6回の各論セミナーと1回の演習を実施

| 講演会名                      | テーマ（内容）      | 開催日         | 開催場所      | 講師名   | 参加者数 |
|---------------------------|--------------|-------------|-----------|---|------|
| モノづくりの原点回帰<br>第1回トップフォーラム | 変えるもの、変えざるもの | 平成20年7月4日   | ミッドランドホール | 日野自動車㈱<br>相談役<br>蛇川 忠暉氏<br>東京大学<br>ものづくり経営研究センター長<br>藤本 隆宏氏 | 134名 |
| モノづくりの原点回帰<br>第2回トップフォーラム | 変えるもの、変えざるもの | 平成20年10月20日 | ミッドランドホール | トヨタ紡織㈱<br>相談役<br>好川 純一氏<br>東京大学<br>ものづくり経営研究センター長<br>藤本 隆宏氏 | 130名 |

・モノづくりの原点回帰（セミナー）

各論セミナー

品質保証編、モノの流し方編、生産技術編、生産現場編、生産管理編、製造品質編

講師名 中産連主任コンサルタント 川口 恭則 ほか

参加者数 148名

・JITボード演習

ジャストインタイム体験シュミレーション

講師名 中産連研究員 杉藤 里美

参加者数 17名

2) 支援先企業向け改善活動支援プログラム (Back Upプログラム)

支援先企業にて展開されている改善活動の下支えを狙いとし、3回の勉強会を実施

・ Back Upプログラム

6月 優良企業工場見学会エイバックス(株)多度工場

11月 製造現場 管理者の役割

12月 T P S 基礎研修

講師名 中産連研究員 杉藤 里美 ほか

参加者数 41名

3) J M S 公開プログラム

J M S の普及啓蒙を目的に、J M S の理解と実践を促進する機能別セミナーを実施

・ 製造品質・品質保証編

「品質」を通して、新たな価値創造への挑戦

・ 開発編

時間に焦点を当てた「開発」の見方・考え方・行動の仕方

・ 生産技術編

企画から生産立上げまでの「生産技術」の役割

・ 現場管理と改善・設備保全編

使い方で効果に差が出る「現場管理と設備保全」

講師名 中産連主任コンサルタント 町野 隆美 ほか

参加者数 60名

4) 創立60周年記念特別講演会

今までに経験のない金融危機からの不況の中、この危機を好機に変えるために、製造の現場を支える責任者の方々に向けて特別講演会を実施

| 講演会名          | テーマ (内容)                                  | 開催日       | 開催場所    | 講師名                          | 参加者数 |
|---------------|---|-----------|---------|------------------------------|------|
| 創立60周年記念特別講演会 | 「一人一人が輝く現場へ」<br>～モノづくりの進化と個々人が考え行動する現場運営～ | 平成21年2月4日 | 産業技術記念館 | トヨタ自動車(株)<br>専務取締役<br>伊奈 功一氏 | 100名 |

5) メンタルヘルスセミナー

メンタルヘルスに関する研究および中小企業における社員のメンタルヘルス対策を実施するための仕組みの構築と導入支援、及び継続的な実践サポートを行う体制を準備

| 講演会・セミナー         | テーマ (内容)               | 開催日                     | 開催場所  | 講師名                             | 参加者数 |
|------------------|------------------------|-------------------------|-------|---------------------------------|------|
| メンタルヘルスサポートプログラム | “攻め”のメンタルヘルスで組織は生まれ変わる | 平成20年10月31日             | 東桜会館  | 三菱重工業(株)<br>メンタルヘルス室長<br>和田 憲明氏 | 17名  |
| 企業内カウンセラー育成研修    | カウンセラー育成               | 平成21年1月24・<br>31日 2月14日 | 中産連ビル | 社会保険労務士<br>山本 道子氏<br>ほか         | 13名  |

(5) 北部九州地区営業展開調査プロジェクト

北部九州地区における生産革新活動支援ニーズの調査と発掘を目的に、中産連の紹介や事例紹介セミナー・実践型研修会、および工場無料診断を実施、コンサルティング1社実施、セミナーには80社が参加

| 講演会・セミナー   | テーマ（内容）                                   | 開催日        | 開催場所        | 講師名                        | 参加者数 |
|--|---|------------|-------------|----------------------------|------|
| 「改善事例発表会&加藤清敏氏講演会」   | 「世界へ向かう窓口 ものづくりアイランド九州」～実践の立役者が語るものづくり革新～ | 平成20年6月24日 | 久留米リサーチ・パーク | 中産連<br>委嘱コンサルタント<br>加藤 清敏氏 | 125名 |
| 実践型セミナー（4回実施）<br>・「トヨタ生産方式とは」<br>・「JIT体感ゲーム」<br>・「ものづくり企業が直面している危機への提言」<br>・「標準作業による改善ゲーム」 |   |            |             | 中産連研究員<br>杉藤 里美<br>ほか      | 65名  |

9. トヨタ流改善支援事業

(トヨタ流改善支援室)

(1) 「トヨタ生産方式研究会」事業

本年度は本セミナー開講30周年を迎え、時代の変化と共に進化し、かつ時代の変化の中でも不変であるトヨタ生産方式の本質をトヨタ自動車ならびにトヨタグループ各社のご協力の下、より一層正しく普及啓蒙していくことを主眼に活動

・研究会概要

特別講演 「トヨタ生産方式の本質と進化」

講演者 トヨタ自動車(株) 常務役員 三浦 憲二氏

| 内 容 と 講 師   | 春                      | 季    | 秋                       | 季    |
|---|------------------------|------|-------------------------|------|
|   | 期 間                    | 参加者  | 期 間                     | 参加者  |
| PART I 「改善の進め方」講座<br>春季<br>講師：トヨタ自動車(株)<br>生産調査部 部長 福永 恵一氏 ほか6名<br>秋季<br>講師：トヨタ自動車(株)<br>生産調査部 主査 柴川 早人氏 ほか6名   | 平成20年<br>5月14日～<br>16日 | 300名 | 平成20年<br>9月17日～<br>19日  | 300名 |
| PART II 「作業改善」研修<br>講師：トヨタ自動車(株)<br>生産調査部 部長 福永 恵一氏<br>同 部 主査 柴川 早人氏<br>同 部 主査 松村 英之氏<br>春季 アイシン精機(株)、(株)東海理化<br>トヨタ紡織(株)、豊田合成(株)<br>秋季 アイシン精機(株)、(株)デンソー<br>トヨタ紡織(株)、豊田合成(株) | 平成20年<br>6月8日～<br>13日  | 48名  | 平成20年<br>10月19日～<br>24日 | 48名  |

## (2) コンサルティング

T P S、T Q M、T P Mを基本としたトヨタ流の職場運営および改善手法を基本に各人の固有技術を活かしたコンサルを推進、T P S本来の目的である原価低減を前面に出し、現在の難局を乗り切るための活動を実施

- 1) トヨタ流の職場運営に基づいた製造現場体質改善と中間管理職の育成 (4社)
- 2) 自主研方式による改善ノウハウおよびトヨタ生産方式の社内展開ノウハウ指導 (1社)
- 3) トヨタ流造り方改善としくみづくりに基づく企業再生プログラム支援 (1社)
- 4) 物流および造り方の観点からの工場建設および工場移設・投資企画支援 (2社)
- 5) 製造現場管理職の業務分析による課題整理と改善の方向付け (2社)
- 6) 管理能力向上プログラムに基づく本社機能間接部門の業務改善支援 (1社)
- 7) 自己完結の考え方に基づく設計、生管、資材、品質管理など間接・スタッフ部門の業務改善 (1社)

## (3) 講演・研修

- 1) 各種団体委託講演 (3団体)
- 2) J I C A、A O T S委託研修 (3ヶ国：中国、メキシコ、マレーシア)
- 3) 企業内研修 (7社)

## 10. マネジメント貢献事業活動

(マネジメント貢献事業部)

### (1) マネジメント貢献センター

- 1) 「経営後継者養成アカデミー (J E A)」(修了生255名)

第41期J E Aは、3名の研修生を迎え実施、J E A卒業生は250名を超え、うち100名以上が経営を引き継ぎ活躍

- 2) コンサルティング

生産革新活動支援に関するコンサルティング

- 3) 企業内研修

階層別研修、行政機関の管理者研修

- 4) 受託事業

「環境パートナーシップ・CLUB (略称：E P O C)」総合事務局を受託

環境パートナーシップ・CLUBは、産業界の環境オピニオンリーダーが中心となって、循環型経済社会の構築を目指すべく活動 (平成12年2月17日設立)

<主な活動>

- ・環境行動の社会への浸透活動
- ・環境マインドに溢れた社会風土づくり活動
- ・環境行動に関する情報発信活動
- ・環境活動に関する国際交流活動

上記、諸活動を通じて中部圏から環境対応に関する様々な情報発信を行い、世界に誇れる環境先進地域の形成を目指している。

<環境パートナーシップ・CLUBの役員と会員数>

会長 深谷 紘一氏 (株デンソー 代表取締役副会長)  
副会長 松下 雋氏 (日本ガイシ(株) 代表取締役社長)  
副会長 川本 隆一氏 (株I N A X 代表取締役社長)  
副会長 佐伯 卓氏 (東邦ガス(株) 代表取締役社長)  
副会長 小池 利和氏 (ブラザー工業(株) 代表取締役社長)  
副会長 内山田 竹志氏 (トヨタ自動車(株) 代表取締役副社長)  
副会長 宮池 克人氏 (中部電力(株) 代表取締役副社長執行役員)  
総合事務局長 竹内 弘之 (社中部産業連盟 副会長)  
ほか理事12名 監事2名 顧問10名  
会員数 299社(者) (平成21年3月末日現在)

(2) 留学生研修センター

「アジア人財資金構想」高度実践留学生育成事業 (経済産業省受託事業)

日本企業の海外進出に伴い、日本と現地との橋渡しをする能力を持ち、企業のグローバル化促進の中核となることができる「高度グローバル人材」が産業界より求められている。一方で、12万人を突破した外国人留学生の多くが、卒業後、日本での就職を希望しており、産業界と外国人留学生とを結びつけるプラットフォームの構築が必要である。本事業では、①ビジネス日本語・日本ビジネス教育事業②インターンシップ事業③就職支援事業④プログラム参加推進事業⑤プロジェクトマネジメント事業等を通じて、外国人留学生が日本企業で活躍するための支援を実施。

その支援の結果として、自らの専門能力を存分に発揮することに加えて、日本企業のグローバル化促進を担うことができる人材を産業界に供給することを主目的とする。

1) 事業実施期間：平成19年～平成22年 (4年間)

※本プログラムの事業期間は一期2年間。毎年度初頭に参加留学生を募集

2) プログラム参加大学

参加大学である名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、岐阜大学、三重大学、金沢大学、富山大学、北陸先端科学技術大学院大学の8国立大学法人のうち、豊橋技術科学大学を除く7大学

3) 参加留学生数

本年度中部地区では、7大学から30名の留学生が参加

4) プログラム実施報告

①ビジネス日本語・日本ビジネス教育事業

②インターンシップ事業

- ・中部地域の各企業において8月～9月に1～2週間インターンシップを実施
- ・約100社のインターンシップ受入協力企業を開拓

③就職支援事業

就職対策講座、履歴書等の添削指導、個別キャリアカウンセリング

④プログラム参加推進事業

大学向け事業説明会、企業向けセミナー、合同企業説明会

⑤プロジェクトマネジメント事業

協議会、コンソーシアム会議

11. 会員事業活動

(1) マネジメント研修事業部

会員企業を中心に産業界全体に対し、時代の要請に応え得る創造性豊かな人材の育成をねらいに、「公開研修事業」や技術革新、グローバル化に対応した「フォーラム」「長期研究会」「海外視察団の編成」、さらに「第24回中産連“創造の船”」を実施。また、企業の様々な課題や要望に合わせた企業内研修、コンサルティングの提案活動を活発に展開した。

| 分野           | プロジェクト数 | 社数     | 参加者    |
|--------------|---------|--------|--------|
| 公開研修         | 309     | 3,435  | 4,597  |
| 浜松開催<br>公開研修 | 42      | 260    | 396    |
| 研究会          | 5       | 92     | 133    |
| フォーラム        | 3       | 173    | 279    |
| 海外研修         | 1       | 11     | 16     |
| 海外受託研修       | 10      | 149    | 244    |
| 海外洋上研修       | 1       | 80     | 170    |
| 企業内研修        | 156     |        |        |
| コンサルティング     | 34      |        |        |
| 中国プロジェクト     | 11      |        |        |
| 受託事業         | 3       |        |        |
| 合計           | 575     | 4,200社 | 5,835名 |

1) 公開研修事業（階層別・分野別 309コース、3,435社、4,597名）

①階層別研修（62コース、647社、1,023名）

取締役研修、経営幹部研修、管理者・監督者・中堅社員の基本研修、製造系階層別研修、新入社員、接遇・ビジネスマナー研修、現場リーダー実践研修、現場リーダーの時間活用術、秘書、

○JT、若手・中堅社員異業種交流研修会、管理監督者異業種交流研修会

②生産部門研修（93コース、1,080社、1,403名）

5S実践セミナー、現場の電気・PC、生産管理の基礎、1日で学ぶ即戦購買力、購買業務とコストダウン、購買外注担当者の基本、購買折衝の進め方、購買部課長の実務、コスト意識と原価管理、外観検査、プレス工場づくり、樹脂工場づくり、協力工場の指導、品質管理、削り屋、板金プレス、油圧・空圧、IE手法、多能工育成、「技術・技能マップ」づくり、工場事務間接部門のスリム化とムダ取り、設備の日常点検と管理、生産現場のしくみの評価と標準化、ポカミス撲滅、ビデオで学ぶ動作研究と作業分析、南米外国人労働者との仕事の進め方



- ③営業部門研修（25コース、263社、343名）  
 営業マネジャー、新任営業担当者、営業基礎、営業アシスタント実践、提案型研修、第一線営業、商談話術、セールストーク、マーケティング
- ④経理部門研修（21コース、224社、278名）  
 経理の基本、原価計算と原価管理、原価のしくみと業務への活用、原価情報のづくり方、決算書、管理会計の入門、賃金設計のすすめ方、簿記の基礎
- ⑤人事・総務・法務部門研修（5コース、40社、43名）  
 人事制度の「見える化」、適正人件費の算出と人件費構造改革、労務管理、サービス残業・過重労働に関する法知識、経営法務を語る会
- ⑥物流部門研修（8コース、96社、113名）  
 物流アウトソーシングと3PL活用、実地棚卸、物流コスト削減、物流料金の決め方
- ⑦ビジネススキル（56コース、652社、815名）  
 プラス思考、コーチング、製造系コーチング、メンタルヘルス、社労士養成研修、タイムマネジメント、コミュニケーション、ほめ方・叱り方、企画の達人、決め事（ルール）を守らせる、図解の技術、契約書の基礎知識と実践、人を育てるハウレンソウ徹底の進め方、プレゼンスキル、チームビルディング、クレーム対応、本番力を高めるインプロ、バランススコアカード実践、ファシリテーション
- ⑧技術開発部門研修（19コース、183社、259名）  
 開発設計の原価改善、新V Eの基本、製図技能教室、図面の見方・読み方、設計製図、企画力の基本、デザインレビュー、検図、商品企画力・開発力、技術文書の基礎、技術者のための最優先課題の発見と対策、組み込みシステムの基礎、中小企業のIT経営
- ⑨貿易部門研修（6コース、34社、69名）  
 貿易実務入門、貿易実務（基礎知識編）、貿易実務基礎実践、交渉と契約の進め方
- ⑩食品製造部門研修（7コース、51社、69名）  
 食中毒対策、食品衛生、異物混入、5S＋殺菌・消毒、PPとSSOP
- ⑪コンサルティング紹介セミナー（7コース、165社、182名）  
 5S、マーケティング戦略、次世代リーダーの発掘と育成、財務戦略、原価情報、業務改善
- 2）浜松開催 公開研修（階層別・分野別 42コース、260社、386名）
- ①階層別研修（11コース、68社、99名）  
 管理者研修、上級中堅社員研修、中堅社員研修、若手社員研修
- ②生産部門研修（27コース、169社、262名）  
 5S関連セミナー、生産管理の基礎、現場の見える化、新任バイヤー即戦力化研修、購買業務の基礎、決め事を守らせるには、試験・計測器管理研修、品質の源流管理、ポカミス撲滅への体質改善と対策の進め方、日常保全、折衝交渉力、QC7つ道具の活用、貿易実務入門
- ③技術開発部門研修（3コース、15社、25名）  
 設計段階での製造原価削減の取組法、図面の見方読み方

- ④ビジネススキル（1コース、8社、10名）  
 決め事（ルール）を守らせる
- 3) 研究会・フォーラム（8コース、265社、412名）
- ①研究会（5コース、92社、133名）  
 モノづくり研究会（全7回）  
 産業技術研究会（全6回）  
 ヤング・エグゼクティブ・フォーラム  
 モノづくりと人づくり 心の伝承塾（管理者コース、中堅社員コース）
- ②フォーラム（3コース、173社、279名）

| フォーラム名             | テーマ(内容)                          | 開催日   | 講師名  |
|--------------------|----------------------------------|---|--|
| モノづくり応援フォーラム       | 頑張れ日本の製造業！                       | 平成21年3月10日・12日  | トヨタ自動車株<br>常務役員 高橋 德行氏<br>他12名                                 |
| 企業活性化フォーラム         | 働きがいとモチベーションをアップさせる組織と個人のデザインの秘訣 | 平成21年2月17日  | トヨタ自動車株<br>常務役員 藤岡 高広氏<br>北京オリンピック陸上競技<br>銅メダリスト 朝原 宣治氏<br>他6名 |
| 5S活動の実践フォーラム&現場見学会 | 企業における5S活動の実践と進め方                | フォーラム<br>平成20年11月7日<br>見学会<br>平成20年11月<br>11日・14日・18日 | 豊田エンジニアリング株<br>チーフコンサルタント<br>荒井 耿介氏<br>他7名                     |

#### 4) 海外研修

- ①海外視察団（1コース、11社、16名）  
 2008 S A E 自動車技術展視察団  
 期 間：平成20年4月14日～21日（8日間）  
 訪問都市：デトロイト、シンシナティ、レキシントン

②海外受入研修（10コース、149社、244名）

- 中国製造業企業管理技術研修団  
 中外管理訪日研修団  
 中国企業家先進製造管理研修団  
 中国企業生産管理革新訪日研修団  
 韓国産業団地公団  
 ドイツ I M I G w o r k s h o p

#### 5) 海外洋上研修（1コース、80社、170名）

- 第24回 創造の船  
 期 間：平成20年10月26日～11月1日（7日間）  
 訪問都市：天津、北京、上海、広州、深セン、香港

6) 企業内研修・コンサルティング提案活動 (190プロジェクト)

①企業内研修 (156プロジェクト)

生産・製造、人事管理、営業、階層別研修、新入社員、接遇・マナー、スキルアップ、品質管理、創造性開発、T W I、安全、メンタルヘルス、ハラスメント

②コンサルティング (34プロジェクト)

生産・製造、人事組織、開発設計

7) 中国プロジェクト (11プロジェクト)

中産連北京事務所による、中国日系企業及び中国民营企业に対する経営管理革新支援、人材育成支援、情報サービス活動

8) 受託事業

①㈱日本バリュー・エンジニアリング協会中部支部

V E研修、建設V E研究会、原価とV E研究会、V E効率化研究会、中部V E大会、中部V E懇話会の実施

②日本設備管理学会 本部

総会・シンポジウム、大会の実施

③日本設備管理学会 東海支部

総会・シンポジウムの実施

(2) 会員事業部

会員各位に喜ばれるサービス事業の推進を主眼として、活発に事業を展開するとともに未加入企業の方々にも入会を促進し、会勢拡大に努めた。

1) プロGRESS (中産連機関誌・月刊マネジメント専門誌) の発行

新しいマネジメントの提言、経営戦略の紹介など、会員企業の関心の高いテーマを特集企画としてとりあげた。(別表2参照)

2) 会員懇話会 (無料講演会)

タイムリーで話題性の高いテーマを毎回とりあげ、実施 (別表3参照)

3) 経営法務相談室 (無料)

経営全般に関する無料相談室と企業法務に焦点を当てた経営・法務の無料相談室にはこれまでそれぞれの時代を反映した相談が寄せられており、本年度も経営課題・問題解決の窓口を開設

【緊急処置】

「中小企業緊急雇用安定助成金」相談窓口の設置 (無料)

世界同時不況下、少子化が進むなかでの雇用維持と次代を担う人材育成の支援を目的に、制度の内容、受給資格および申請方法などについての無料相談窓口を設置した。

4) 中産連ビデオサービス

会員企業向けのメンバー登録制によるビデオギャラリーを開設、企業内研修等に活用

5) 日本経営近代化協会 (S A M) 名古屋支部 (別表4参照)

6) 日本広報学会 中部部会 (別表5参照)

7) 中産連ホームページ

当連盟団体概要の紹介のほか、新着情報コーナーなどで、さまざまな情報を提供するとともに、会員企業へのリンクサービス、セミナー申込み、コンサルティングの問い合わせに対応

8) 遠州地区懇談会準備発起会

遠州地区会員相互の交流の場を設けるとともに、遠州地区懇談会設立準備に伴い同地区有力企業へのプレゼンテーションを実施

9) 遠州地区シンポジウム&異業種交流会

「産業観光と企業の活性化を通じた地域興し」(別表6参照)

10) 中産連人材育成フォーラム

創造性豊かな人材育成をめざして、これからの人材育成を提案し、平成21年度 研修事業計画を説明(別表7参照)

11) マネジメント小冊子(無料)の発行

- ・『平成20年度中産連会員懇話会抄録集』
- ・『経営者特別講演会 Vol.3』

12) 中産連案内パンフレット

13) 公開研修会案内冊子(無料)の発行

別表2(1) 平成20年度上期ブログレス主要記事

| 月号  | 表紙                                       | 紙   | 潮  | 流   | 特集テーマ  | 主な内容 | 懇話会抄録 | その他の |
|-----|--|---|--|---|--|------|-------|------|
| 4月号 | ㈱デンソー<br>「リニューアールオープンした『デンソーキャララー』」      | 大同工業大学<br>情報学部 教授<br>川戸 和英氏<br>『『社交時代』の企業経営』            | 大岡山大学<br>情報学部 教授<br>川戸 和英氏<br>『『社交時代』の企業経営』  | ○創立60周年を迎えて<br>平成20年度(2008年)「中産連事業方針と計画」概要<br>中産連 副会長(待遇専務理事) 竹内 弘之                   | 第475回<br>企業の実態調査により急がれる<br>「文系と理工系を兼ねた人づくり」<br>青山学院大学 経営学部 教授<br>玉木 欽也氏  | 他    |       |      |
| 5月号 | 東海旅客鉄道㈱<br>『「左久間レールパーク祭り」開催』             | 呉市海事歴史科学館<br>館長 戸高 一成氏<br>「チャレンジを続ける博物館『大和ミュージアム』」      | ○日本の省エネ技術の海外移転に関する考察<br>名古屋大学大学院 経済学研究科 教授 西村 眞氏<br>名古屋大学大学院 経済学研究科 博士後期課程 渡辺 聡氏   | 第476回<br>「快適オフィスで業務効率を改善/大幅な省エネルギー」<br>知的オフィス環境コンソーシアム 会長<br>同志社大学大学院 工学研究科 教授 三木 光範氏 | 第477回<br>『『感性』のマーケティングをビジネスに活かす』<br>～感性価値創造のための実践マーケティング～<br>オラクルひと・しくみ研究所 代表<br>日本感性工学学会 理事<br>静岡大学 客員教授 小阪 裕司氏 |      |       |      |
| 6月号 | 中産連<br>「『中産連創立60周年記念感謝の集い』開催」            | フジパンググループ本社㈱<br>代表取締役会長<br>舟橋 正輝氏<br>「今こそ食を考える」         | 1. 社団法人中産連連盟創立60周年記念感謝の集いを挙行<br>①中産連創立60周年記念感謝の集い<br>②記念講演抄録(名古屋)<br>魅力ある日本の創造について<br>トヨタ自動車㈱ 取締役名誉会長 豊田 章一郎氏<br>③記念講演抄録(東京)<br>「勝てるチーム、勝てるリーダー」<br>サントリーサンゴリアス 監督 清宮 克幸氏<br>④写真で見る中産連60周年のあゆみ<br>2. 生産革新DREAM『5S・VM』活動<br>十和田パイオニア㈱ 生産革新室 室長 柳沢 益孝氏 | 第478回<br>「コンプライアンス経営が企業力を高める」<br>～コンプライアンス経営確立のノウハウ～<br>中島経営法律事務所<br>代表弁護士・弁理士 中島 茂氏  |  |      |       |      |
| 7月号 | 豊田通商㈱<br>「『豊通キテオ(Toyotsu kiteo)』オープン」    | 岐阜県工業㈱<br>代表取締役会長<br>星野 鉄夫氏<br>「中産連の想い出-なつかしのチュウウサンレン」  | ○第59回全国能率大会・優秀論文<br>生産改善活動推進のための効率的教育訓練技法<br>中産連 生産革新事業部 コンサルタント 南山 賢悟   | 第479回<br>「今、企業に求められるものづくり安全」<br>～企業を持続的発展の鍵は「ものづくり安全」にあり～<br>明治大学 理工学部 学部長・教授 向殿 政男氏  |  |      |       |      |
| 8月号 | 東海ゴム工業㈱<br>「技術研究所『テクノピア』完成」              | イビデン㈱<br>代表取締役会長<br>岩田 義文氏<br>「洞爺湖サミット：G8が終わって改めて感じたこと」 | ○マネジメントシステムの国際規格化関連動向<br>中産連 理事・ISO事業部長 清水 益文  | 第480回<br>「仕事ができる人の『黄金のスピーチの技術』」<br>代表取締役・チーフトレーナー<br>西野 浩輝氏                           |  |      |       |      |
| 9月号 | アイセロ化学㈱<br>「ショールーム『アクセプブル・コミュニケーションズ』開設」 | オーエスジ㈱<br>代表取締役社長<br>石川 則男氏<br>「切削工具メーカーが進める地球社会」       | 1. 中堅・中小企業における人材不足への対応<br>～「技能伝承プログラム」提案と「60Bank(ロクマルバンク)事業」のご紹介～<br>中産連 理事・経営革新事業部長 桑野 誠<br>2. アジア人材資金構想高度実践留学生育成事業(経済産業省受託事業)の概要<br>中産連 マネジメント貢献センター 所長 高岡 一郎  |   |  |      |       |      |

別表2(2) 平成20年度下期ブログレス主要記事

| 月号   | 表紙                                      | 紙エコー  | 潮流   | 特集テーマ   | 主な内容  | 懇話会抄録 | その他の |
|------|---|---|--|---|---|-------|------|
| 10月号 | パナソニックエコーシステムズ㈱<br>『「換気・環境ソリューション」オープン』 | ㈱INAX<br>代表取締役社長<br>川本 隆一氏<br>「変化と挑戦」                           | ○企業におけるCSR戦略～企業広報の視点から～<br>PRRM Consulting Group 代表 伊原 正俊氏   | 第481回 中産連60周年記念特別講演会<br>「メキシコ国と日本の協働」<br>～環境問題を核とする関係強化をめざして～<br>メキシコ国立自治大学ビジネススクール<br>学長<br>マリアアントニエタ・<br>マーチン・グラナドス博士 |   |       |      |
| 11月号 | ガステックサービス<br>㈱<br>『COCOLAFRONT』<br>完成   | 愛知時計電機㈱<br>取締役会長<br>池田 一氏<br>「継承と革新」                            | ○ユビキタスが拓く未来～その現状と課題～<br>名古屋大学大学院 工学研究科 准教授・工学博士<br>河口 信夫氏  | 第482回<br>「狐と狸と大統領」<br>～ロシアを見る目～<br>ジャーナリスト (元NHKモスクワ支局長)<br>作新学院大学 特任教授<br>小林 和男氏                                       |   |       |      |
| 12月号 | ㈱松坂屋<br>「クリスタルツリー<br>登場」                | 豊田合成㈱<br>取締役社長<br>若山 甫氏<br>『『現地現物+現実』と<br>『コミュニケーション力』<br>について』 | 1. 2009年景況予測と企業動向調査<br>～中産連役員42氏の予測～ (中産連役員アンケート集計結果より)<br>中産連 副会長 竹内 弘之<br>コンサルタント 加藤 久仁明<br>2. 2008年マネジメント課題総括「出を制し、入るを量る」時代の<br>到来<br>中産連 副会長 竹内 弘之<br>理事・JMS事業部長 佐々木 元   | 第483回<br>「鳥の目で見える地域経営」<br>元中部経済産業局長<br>細川 昌彦氏   |   |       |      |
| 1月号  | 浜名梱包輸送㈱<br>「シルクロード・ミュー<br>ジアム」          | 中産連会長年頭ご挨拶<br>中産連 会長 池淵 浩介<br>経済産業大臣年頭所感<br>経済産業大臣 二階 俊博氏       | 1. 2009年新春対談「激動する経済環境～中部地区産業界の現状と<br>今後～」<br>語る人：一橋大学大学院 商学研究科 教授・経済学博士<br>橋川 武郎氏<br>聞く人：中産連 副会長 竹内 弘之<br>2. 2009年の東海経済：展望と課題<br>日本銀行 名古屋支店長 早川 英男氏                          | 第484回<br>「新年の内外経済を展望する」<br>三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱<br>調査部長 五十嵐 敬喜氏  |   |       |      |
| 2月号  | 豊金興業㈱<br>「墨会館が登録有形<br>文化財に登録」           | 敷島製パン㈱<br>代表取締役社長<br>盛田 淳夫氏<br>「常識を疑う」                          | 1. 巨大市場・中国の台頭と日本企業の対応<br>㈱中国市場戦略研究所 代表 向東氏<br>2. 主問題経済学と及対問題経済学の提案<br>名城大学 都市情報学部 学部長・教授 木下 栄藏氏  | 人材育成フォーラム基調講演抄録<br>「育つ人・育てる人の心」<br>千房㈱ 代表取締役社長<br>中井 政嗣氏  |   |       |      |
| 3月号  | リンナイ㈱<br>「在名古屋ニュージ<br>ランド名誉事館」          | 名古屋中小企業投資育成<br>㈱<br>代表取締役 池田 芳原氏<br>「中小企業と株式」                   | 1. 緊急提言～経済危機はコンプライアンスの危機～今こそコンプ<br>ライアンスの徹底を<br>中産連 第六コンサルティング部 コンサルタント 加藤 久仁明<br>2. 組織活性化のコミュニケーションツール<br>「COM. CJR」 中産連コミュニケーション<br>人事組織革新事業部<br>文：中産連 第一コンサルティング部 部長 松井 茂 | 第485回<br>「職場のメンタルヘルスにおける管理・<br>監督者の役割」<br>助産社会経済生産性本部<br>メンタル・ヘルス研究所<br>今井 副所長<br>保次氏                                   | JMS経営者講演会抄録<br>「歩いて輝にあたった新規事業」<br>JMS推進機構 理事<br>ヤマハ発動機㈱ 取締役会長<br>戸上 常司氏 |       |      |

別表3 会員懇話会

| 開催日               | 講師   | テーマ  | 参加者 |
|-------------------|--|--|-----|
| 4/10(木)<br>第477回  | 小阪 裕司氏<br>(オラクルひと・しくみ研究所 代表)                         | 「感性」のマーケティングをビジネスに活かす                            | 72  |
| 6/16(月)<br>第478回  | 中島 茂氏<br>(中島経営法律事務所 代表弁護士、弁理士)                       | コンプライアンス経営が企業力を高める<br>～コンプライアンス経営確立のノウハウ～        | 176 |
| 7/10(木)<br>第479回  | 向殿 政男氏<br>(明治大学 理工学部長、理工学研究科<br>委員長、情報科学科 教授)        | 今、企業に求められるものづくり安全<br>～企業の持続的発展の鍵は「ものづくり安全」にあり～   | 105 |
| 8/21(木)<br>第480回  | 西野 浩輝氏<br>(マーキュリッチ㈱ 代表取締役 チーフ<br>トレーナー)              | 経営者のための仕事ができる人の「黄金の<br>スピーチの技術」                  | 150 |
| 9/12(金)<br>第481回  | マリアアントニエタ・マーチン・グラナドス氏<br>(メキシコ国立自治大学 ビジネススクール<br>学長) | メキシコ国と日本の協働<br>～環境問題を核とする関係強化をめざして～              | 80  |
| 10/21(火)<br>第482回 | 小林 和男氏<br>(ジャーナリスト 元NHKモスクワ支<br>局長 作新学院大学特任教授)       | 「狐と狸と大統領」<br>～ロシアを見る目～                           | 115 |
| 11/4(火)<br>第483回  | 細川 昌彦氏<br>(元中部経済産業局長)                                | 鳥の目で見る地域経営                                       | 73  |
| 12/18(木)<br>第484回 | 五十嵐 敬喜氏<br>(三菱UFJリサーチ&コンサルティング<br>㈱ 調査部長)            | 新年の内外経済を展望する                                     | 159 |
| 2/10(火)<br>第485回  | 今井 保次氏<br>(助社会経済生産性本部 メンタル・ヘ<br>ルス研究所 副所長)           | 職場のメンタルヘルスにおける管理・監督<br>者の役割<br>～メンタルヘルス問題は経営の責任～ | 108 |
| 3/11(水)<br>第486回  | 立石 信雄氏<br>(オムロン㈱ 相談役)                                | 経営とVE<br>～企業価値創造と企業の社会的責任～                       | 187 |

別表4 日本経営近代化協会（SAM）名古屋支部

| 開催日      | 講 師  | テ ー マ  | 参加者 |
|----------|--|--|-----|
| 4/12(土)  | 志村 史夫氏<br>(静岡理工科大学 物質生命科学科 教授)             | 生命の超技術   | 14  |
| 5/30(金)  | 井上 千保子氏<br>(株総合デザイン 代表取締役)                 | 企業経営とカラー戦略   | 18  |
| 6/24(火)  | 堀越 哲美氏<br>(名古屋工業大学大学院 教授・工学博士)             | 東海地方を中心とした近代産業の技術的展開   | 12  |
| 7/9(水)   | 三厨 万妃江氏<br>(有キャリア・サポート 代表取締役)              | ホスピタリティの心で変わる「大人のマナー」  | 13  |
| 8/21(木)  | 西野 浩輝氏<br>(マーキュリッチ株 代表取締役・チーフトレーナー)        | 経営者のための仕事ができる人の「黄金のスピーチの技術」                                  | 9   |
| 9/17(水)  | 安保 邦彦氏<br>(愛知東邦大学 経営学部 教授)                 | 中部の起業家群像   | 8   |
| 10/21(火) | 小林 和男氏<br>(ジャーナリスト 元NHKモスクワ支局長 作新学院大学特任教授) | 狐と狸と大統領<br>～ロシアを見る目～   | 22  |
| 11/18(火) | 濱田 勉氏<br>(豊田労働基準監督署 第二課長)                  | 安全衛生活動で伝えるべきもの<br>～形骸化からの脱却・心が伝わるもの～                         | 14  |
| 12/18(木) | 五十嵐 敬喜氏<br>(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株 調査部長)      | 新年の内外経済を展望する   | 18  |
| 1/14(水)  | 牧野 克則氏<br>(株マキノ 代表取締役)                     | 激動の2009年を生き抜く  | 19  |
| 2/10(火)  | 今井 保次氏<br>(助社会経済生産性本部 メンタルヘルス研究所 副所長)      | 職場のメンタルヘルスにおける管理・監督者の役割<br>～メンタルヘルス問題は経営の責任～                 | 17  |
| 3/10(火)  | 西村 眞氏<br>(名古屋大学大学院 経済学研究科 教授)              | 名古屋大学の新たな産学連携プロジェクト<br>～グローバル人材の育成プロジェクトと今後期待される先端技術（ナノバブル）～ | 19  |



別表5 日本広報学会 中部部会

| 開催日     | 講 師  | テ ー マ  | 参加者 |
|---------|--|--|-----|
| 3/10(火) | 講演会：<br>大島 春行氏<br>(日本放送協会 解説委員)<br><br>パネルディスカッション：<br>大島 春行氏<br>(日本放送協会 解説委員)<br>長谷川 友之氏<br>(ブラザー工業株式会社 執行役員 広報・<br>総務部 部長)<br>石田 憲司氏<br>(株式会社ミツカングループ本社 広報室<br>室長)<br>上野 征洋氏<br>(静岡文化芸術大学 副学長 日本広<br>報学会前理事長)<br>川戸 和英氏<br>(大同工業大学 情報学部 教授 日<br>本広報学会理事) | 世界同時不況下の<br>CC (Corporate Communication) 戦略<br>～わが社はかくコミュニケーションする～ | 31  |

別表6 遠州地区シンポジウム&amp;異業種交流会

| 開催日    | 講 師  | テ ー マ  | 参加者 |
|--------|--|--|-----|
| 2/5(木) | 基調講演：<br>須田 寛氏<br>(東海旅客鉄道株式会社 相談役)<br><br>異業種交流会<br><br>座談会：<br>須田 寛氏<br>(東海旅客鉄道株式会社 相談役)<br>坂本 光司氏<br>(法政大学政策創造研究科 教授)<br>伏見 一成氏<br>(静岡新聞社浜松総局 総局長) | 産業観光と地域興し<br><br><br><br>産業観光と企業の活性化を通じた地域興し | 143 |

別表7 中産連人材育成フォーラム

| 開催日      | 講 師  | テ ー マ                             | 参加者 |
|----------|--|-----------------------------------|-----|
| 12/11(木) | 中井 政嗣氏<br>(千房株式会社 代表取締役)<br><br>駒沢 紀明氏<br>(花王株式会社 人材開発部門 人材開発グルー<br>プ課長) | 育つ人・育てる人の心<br><br>花王のDNAと人材開発の考え方 | 217 |

## 12. 役・職員の対外的協力活動

竹内 弘之

(社)全日本能率連盟副会長

経済産業省関係公益法人厚生年金基金理事・代議員

愛知工業大学経営情報科学部特任教授

JMS推進機構専務理事

環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）総合事務局長

(財)人工知能研究振興財団監事

東海工学教育協会監事

(財)科学技術交流財団中小企業企画委員会委員

(社)科学技術と経済の会運営委員会委員

平成クラブ顧問

(財)生田奨学財団理事

(財)中部電気保安協会評議員

BPIA（ビジネスプロセス革新協議会）副会長

特定非営利活動法人NPO新産業創造研究会理事

日本広報学会常任理事・総務委員会委員

日本ニュービジネス協議会代議員

中部ニュービジネス協議会理事

なごや環境大学実行委員会委員

愛知環境賞選考委員会委員

学校法人日本福祉大学評議員

愛知ブランド評価委員会委員

(財)永井科学技術財団評議員

とくしま経営塾「平成長久手館」運営会議顧問

(財)内藤科学技術振興財団評議員

愛知県地域観光ブランド創出検討会議委員

愛知県全国エコタウン大会・ゼロエミッションフォーラム実行委員会委員

中部運輸局 中部トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議委員

五十嵐 瞭

(社)全日本能率連盟全国能率大会論文委員会委員

(社)全日本能率連盟マネジメント関係資格称号自主規制審査委員会委員

清水 益文

愛知県中小企業振興公社委嘱診断員

(社)全日本能率連盟MC認定制度審査会制度委員会委員

(社)名古屋工業会監事

佐々木 元

名城大学非常勤講師

福山 穰

愛知県教育委員会 学校の組織運営に関する調査研究会議委員

石原 聖治

椋山女学園大学非常勤講師

柘植 吉則

椋山女学園大学非常勤講師

名古屋工業大学非常勤講師

山崎 康夫

東京造形大学非常勤講師

永見 保幸

専門団体連絡協議会委員

(社)全日本能率連盟組織委員会委員

寒河江 克昌

(社)全日本能率連盟 全国能率大会企画委員会委員

(社)全日本能率連盟 60周年記念事業企画推進委員会委員

# Ⅲ. 業 務 報 告

## 1. 会 勢

平成21年3月末日現在の会員数は788社（入会17社、退会46社）である。

## 2. 会 議

### (1) 総会

平成20年度通常総会

と き 平成20年6月16日(月) 14時～15時20分

と ころ 名古屋国際ホテル（2階 老松の間）

出席会員 585会員

（中部経済産業局より地域経済課長臨席）

議 件 i 議決事項

- (1) 平成20・21年度役員（理事・監事）選任の件
- (2) 平成20・21年度名誉会長推薦の件
- (3) 平成20・21年度顧問推薦の件
- (4) 平成20・21年度評議員選任の件
- (5) 平成19年度事業報告および収支決算書類承認の件
- (6) 平成20年度事業計画および収支予算審議決定の件

ii 報告事項

### (2) 理事会

第255回理事会

と き 平成20年5月23日(金) 12時55分～14時

と ころ 名古屋観光ホテル（3階 桂の間）

出席者 理事49名、監事1名

（中部経済産業局より地域経済課長臨席）

議 件 i 議決事項

- (1) 平成20年度通常総会開催日時および場所決定の件
- (2) 上記総会に提出すべき下記議件審議の件
  - 1) 平成20・21年度役員（理事・監事）選任に関する件
  - 2) 平成20・21年度名誉会長推薦に関する件
  - 3) 平成20・21年度顧問推薦に関する件
  - 4) 平成20・21年度評議員選任に関する件
  - 5) 平成19年度事業報告および収支決算案に関する件
- (3) 平成20・21年度会長、副会長、常任理事および専務理事の互選に関する件
- (4) 平成20・21年度相談役推薦および参与委嘱同意の件

(5) 平成19年度下期新規入会会員の承認を求める件

ii 報告事項

臨時理事会

と き 平成20年6月16日(月) 14時20分～14時30分

と ころ 名古屋国際ホテル (2階 牡丹の間)

出 席 者 理事48名、監事1名

議 件 議決事項

平成20・21年度会長、副会長、常任理事および専務理事の互選

第256回理事会

と き 平成20年11月17日(月) 12時55分～13時55分

と ころ ウェスティンナゴヤキャッスル (3階 松竹の間)

出 席 者 理事48名、監事1名

(中部経済産業局より地域経済課長臨席)

議 件 i 承認事項

(1) 平成20年度上期新規入会会員の承認を求める件

ii 報告事項

(1) 平成20年度上期実施事業ならびに収支実績報告の件

(2) 平成20・21年度「会友」委嘱の件

(3) 公益法人制度改革への取り組みの件

(4) その他

第257回理事会

と き 平成21年3月25日(水) 12時55分～13時50分

と ころ 名古屋観光ホテル (3階 桂の間)

出 席 者 理事48名、監事1名

(中部経済産業局より地域経済課長臨席)

議 件 i 議決事項

(1) 平成21年度事業計画および収支予算案の件

ii 報告事項

(1) 公益法人制度改革への取り組みの件

(2) その他

### 3. 庶務

#### (1) 創立60周年記念事業

創立60周年を迎えた当連盟では6月に名古屋、5月に東京において記念式典を挙

#### 1) 名古屋会場：中産連創立60周年記念感謝の集い 式典・講演・レセプション

・開催日：平成20年6月6日(金)

・場所：ウェスティンナゴヤキャッスル「青雲の間・天守の間」

式典では経済産業省経済産業政策局長 鈴木 隆史氏、名古屋市長 松原 武久氏ならびに(株)中部経済連合会会長 川口 文夫氏祝辞、レセプションでは愛知県知事 神田 真秋氏祝辞

#### ①式典・感謝状授与

|     |      |         |                         |
|-----|------|---------|-------------------------|
| 受賞者 | 個人の部 | 多賀 潤一郎氏 | イビデン(株)最高顧問             |
|     |      | 安井 義博氏  | ブラザー工業(株)取締役会長          |
|     |      | 川口 文夫氏  | 中部電力(株)取締役会長            |
|     |      | 大西 匡氏   | (株)ジェイテクト相談役            |
|     |      | 後藤 淳氏   | (学)名古屋電気学園愛知工業大学 理事長・総長 |
|     |      | 三浦 憲二氏  | トヨタ自動車(株)常務役員           |
|     |      | 鈴木 泰寛氏  | アイシン開発(株)取締役社長          |
|     |      | 松本 和男氏  | (株)デンソー顧問               |
|     |      | 牧野 克則氏  | (株)マキノ取締役社長             |
|     |      | 小林 貞夫氏  | 日本広報学会理事                |
|     |      | 蛇川 忠暉氏  | 日野自動車(株)取締役会長           |
|     |      | 墨 明氏    | 艶金興業(株)取締役会長            |
|     |      | 古橋 雄作氏  | ノートルダム大学名誉教授            |

法人の部 新東工業(株)  
東友会協同組合  
(財)日本国際協力センター  
トヨタ自動車(株)TQM推進部  
鍋屋バイテック会社

#### ②記念講演

「魅力ある日本の創造について」

トヨタ自動車(株) 取締役名誉会長 豊田 章一郎氏

#### ③レセプション

書「飢」(創造人)のパフォーマンス 書家 紫 舟女史

#### 2) 東京会場：中産連創立60周年記念式典・講演・レセプション (東京本部)

・開催日：平成20年5月26日(月)

・場所：ホテルニューオータニ「舞の間・悠の間」

式典では(社)日本鉄鋼連盟常務理事 細川 昌彦氏 (元中部経済産業局長) 祝辞

#### ①記念講演

「勝てるチーム・勝てるリーダー」

サントリーサンゴリアス監督 清宮 克幸氏

②感謝状授与

・受賞者 法人の部 十和田パイオニア(株)

③レセプション

・ロボットのパフォーマンス「ロボットによる石見銀山探索プロジェクト縁(えにし)」

松江工業高等専門学校 電子制御工学科 准教授 久間 英樹市

3) 創立60周年記念「特別講演会」

・開催日：平成20年9月12日(金)

・場 所：名古屋東急ホテル

「メキシコ国と日本の協働～環境問題を核とする関係強化をめざして～」

メキシコ国立自治大学ビジネススクール学長

マリアアントニエタ・マーチン・グラナドス博士

4) 創立60周年記念出版

「カイゼンの処方箋」(株)中部産業連盟編

モノづくり日本をリードする中部発 新マネジメントモデルの提唱

発行：(株)幻冬舎メディアコンサルティング

(2) 主務官庁への報告

1) 平成20年6月27日付経済産業大臣宛、平成19年度事業報告書及び収支決算書並びに平成20年度事業計画書及び収支予算書の提出について、下記書類を添えて報告した。

- ・平成19年度事業報告書
- ・平成19年度収支決算書及び財産目録
- ・平成20年度事業計画書
- ・平成20年度収支予算書
- ・総会議事録謄本
- ・当該事業年度末の社員名簿

2) 平成20年7月31日付経済産業大臣宛、理事変更登記完了届、監事変更届及び資産の総額変更登記完了届の提出について、下記書類を添えて報告した。

- ・理事新旧名簿
- ・理事就任承諾書(写)、略歴書(写)
- ・登記簿謄本(理事変更および資産の総額変更)
- ・監事新旧名簿
- ・監事就任承諾書(写)、略歴書(写)
- ・総会議事録謄本

(3) 登記事項

平成20年7月18日名古屋法務局へ、理事変更および資産の総額変更を登記した。

(4) 職員の状況

平成21年3月末日現在の正職員は男子104名、女子36名の合計140名である。

#### 4. 協力活動

(1) 外郭団体・研究会等に対する協力

連盟が業務を受託、または協力している団体は下記のとおりである。

- ・ J E A 経営研究クラブ ( J E C )
- ・ 経営企画士会 ( 社 ) 全日本能率連盟登録)
- ・ ( 社 ) 日本バリュー・エンジニアリング協会 中部支部
- ・ 日本設備管理学会 本部・東海支部
- ・ 日本経営近代化協会 ( S A M ) 名古屋支部
- ・ 日本広報学会 中部部会

(2) 専門団体連絡協議会

マネジメントの分野で全国的に活動を行なっている15公益法人(機関)で組織している専門団体連絡協議会(略称・専団連)のうち、当連盟は東京以外に本部を持つ唯一の全国的マネジメント専門団体として、この協議会の中核的メンバーとなっている。